

訪問看護推進事業報告

訪問看護推進課

訪問看護総合支援センター

令和7年度訪問看護推進事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
訪問看護推進（支援）事業	訪問看護実態調査	訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的な看護内容、事業実施上の問題点等に関する実態調査を行い、訪問看護推進（支援）事業を実施する上での基礎資料を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実態調査の実施 ・訪問看護実態調査報告書の作成 ・訪問看護実態調査報告会の開催 ・調査結果からみえる課題に対する方策の実施 	調査内容のスリム化により回答率の向上を図り、より正確な実態把握となる
	訪問看護相談事業	在宅療養者やその家族等および訪問看護サービスを提供する訪問看護事業者に対して、訪問看護に対する情報提供や相談を行うことで、訪問看護事業に対する理解を深め、活用を促す	<p>相談対応 対象：在宅療養者、家族、関係機関、訪問看護ST職員 等 方法：メール、電話</p>	介護支援専門員、病院相談員等に相談先を周知することにより、訪問看護の活用につながる
	訪問看護推進協議会	訪問看護に関する実態調査および各年度における訪問看護推進事業の企画・調整等を行い、訪問看護の推進に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護推進協議会の開催 ・協議会において、訪問看護推進上の課題について協議 	・資料提示の工夫等により、具体的な協議結果が得られる
	訪問看護従事者研修会	訪問看護に携わる看護職員に対して、最新の知識と医療技術を提供し、質の高い訪問看護サービスの提供に資する	訪問看護従事者研修会（新任者編）の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会を増加させる ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める
	訪問看護従事者研修会		訪問看護従事者研修会（管理編）の開催	
訪問看護従事者研修会	訪問看護従事者研修会（スキルアップ編）の開催			
在宅看護研修会	医療機関等に勤務する看護職員に対して、在宅医療に関する知識の習得機会を提供し、入院患者に適正に在宅医療に移行するための入退院支援を行うことにより、訪問看護の推進に資する	在宅看護（入退院支援）研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会の増加を図る ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める 	

および令和8年度取り組み目標

訪問看護ステーション→訪問看護ST 看護小規模多機能型居宅介護→看多機

令和5・6・7年度実績					令和8年度計画	
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年増減	指標	取り組み目標
調査対象施設数	訪問看護ST188施設	訪問看護ST204施設	訪問看護ST213施設	—	—	・調査項目の検討および他の調査結果の活用等により、より実態に基づいた情報を収集できる。
回収施設数	訪問看護ST146施設	訪問看護ST150施設	訪問看護ST152施設	—	—	
回収率	77.7%	73.5%	71.4%	2%減	70%以上	
訪問看護実態調査報告会出席数	訪問看護ST38回線	訪問看護ST55回線	訪問看護ST52回線	3回線減	受講数の増加	・訪問看護ST、関係機関等が、事業運営に活用できるよう調査結果を提供できる。
課題に対する方策の実施	実施	実施	実施	—	実施	
相談合計件数(件)	372	561	484	77減	1年以内に開設した訪問看護STから、1回以上の相談がある	・地域住民、療養者や家族、関係機関が訪問看護への理解が深まる相談対応ができる。 ・訪問看護STが法令に基づき安定した運営ができるための相談対応ができる。
相談者区分件数(件)	療養者3 家族2 訪問看護ST328 関係機関27 その他12	療養者7 家族5 訪問看護ST515 関係機関29 その他5	療養者2 家族9 訪問看護ST417 関係機関45 その他11	—	—	
開催回数および開催日	2回 令和5年8月16日 令和6年3月28日	2回 令和6年9月5日 令和7年1月24日	1回 令和7年8月18日	—	開催回数1回 R8年8月	・実効性のある協議結果が得られるための協議会運営ができる。
全日程 ・講義(年度により異なる) ・eラーニング約35時間 ・施設実習2日	講義:8日 募集30 受講41修了37 受講割合136.7% 満足度100% 目標達成度100%	講義:8日 募集30 受講34 修了34 受講割合113.3% 満足度65.2% 目標達成度63%	講義:7日 募集30 受講24 修了23 受講割合80.0% 満足度99.2% 目標達成度99.2%	受講割合33.3%減 満足度34.0%増 目標達成度36.2%増	・受講割合70%以上 ・満足度80%以上 ・目標達成度80%以上	・小規模施設、新規開設施設等も受講しやすい研修体制の工夫ができる。 ・研修の満足度、理解度、目標達成度を維持できるよう、講師との綿密な打合せ等の取り組みができる。
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義3回 募集計120 受講延35 受講割合43.8% 満足度98.7% 目標達成度97.5%	講義3日 募集計90 受講延55 受講割合61.1% 満足度100% 目標達成度100%	講義4日 募集計80 受講延51 受講割合63.8% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合2.7%増 満足度 維持 目標達成度 維持		
全日程 ・講義(年度により異なる) ・施設実習2日	講義5日 募集20 受講20 修了18 受講割合100% 満足度100% 目標達成度90.0%	講義5日 募集20 受講14 修了12 受講割合70.0% 満足度93.7% 目標達成度72.7%	講義4日 募集20 受講11 修了10 受講割合55.0% 満足度95.5% 目標達成度93.8%	受講割合15.0%減 満足度1.8%増 目標達成度21.1%増		
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義5日 募集計140 受講延べ57 受講割合40.7% 満足度95.0% 目標達成度94.2%	講義5日 募集計140 受講延べ47 受講割合33.6% 満足度100% 目標達成度100%	講義3日 募集計80 受講延べ39 受講割合48.8% 満足度99.9% 目標達成度100%	受講割合15.2%増 満足度0.1%減 目標達成度 維持		
講義 1回単位(年度に異なる)	講義4回 募集計160 受講延べ173 受講割合108.1% 満足度96.7% 目標達成度98.3%	講義4回 集計220 受講延べ202 受講割合91.8% 満足度82.0% 目標達成度85.0%	講義7回 募集計420 受講延べ203 受講割合48.3% 満足度98.4% 目標達成度97.1%	受講割合43.5%減 満足度16.4%増 目標達成度12.1%増		
全日程 ・講義(年度により異なる) ・施設実習2日	講義3日 募集20 受講17 修了16 受講割合85.0% 満足度99.4% 目標達成度100%	募集20 受講12 修了12 受講割合60.0% 満足度99.0% 目標達成度99.0%	募集20 受講10 修了10 受講割合50.0% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合10.0%減 満足度1.0%増 目標達成度1.0%増		
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義3回 募集計30 受講27 受講割合90.0% 満足度100% 目標達成度100%	講義4日 募集計120 受講延84 受講割合70.0% 満足度98.0% 目標達成度96.4%	講義4日 募集計120 受講延66 受講割合55.0% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合15.0%減 満足度2.0%増 目標達成度3.6%増		

令和7年度訪問看護推進事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
訪問看護推進（支援）事業	訪問看護師育成サポート研修	訪問看護従事者・看護管理者・指導者に対しての育成支援等を行うことにより、訪問看護従事者の確保定着を促進する	個別研修 全体研修① 訪問看護制度等に関する研修 全体研修② 教育機関と連携した研修	・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会の増加を図る
	訪問看護就業支援プログラム	看護職員および看護学生に対して、訪問看護ST就業体験の機会を提供し、就業意欲を高めることにより訪問看護師の確保につなげる	訪問看護STにおける職場体験	NC、看護師等養成校との協働により、訪問看護への関心を高める
訪問看護総合支援センター事業	訪問看護ステーション運営アドバイザー事業	訪問看護STの運営や経営管理、人材育成等の相談に対応し、必要な知識や情報等の提供や支援を行い、安定した事業運営につなげる	訪問看護ST運営に関する助言	・新規開設施設への個別周知により、活用機会を確保する
	訪問看護に関する啓発事業	住民や看護職員等に対し、訪問看護に関する情報提供等啓発を行い訪問看護に関する理解を深め、訪問看護の活用を促進する	・リーフレットの活用 ・看護師等学校養成所訪問 ・新潟市事業への協力 等	・住民対象リーフレットの活用が促進される
	看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援	看護小規模多機能型居宅介護事業所が安定した運営のもと、利用者に質の高いサービスを提供できる体制整備への取り組みを促進する	実態把握の実施	看護小規模多機能型居宅介護事業所の実態を把握し、課題と方策を明確にする
			研修会・情報交換会の開催	研修や情報収集の機会を提供し、質が高く安定した事業運営を支援する
関係機関との連携	関係機関と訪問看護に係る課題や方策等について情報交換および意見交換・協議を行い、訪問看護の推進に寄与する	関係機関との連携	訪問看護に係る課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを実施する	
日本看護協会委託事業	地域の実情に応じた看護職確保推進事業	地域の実情に応じた看護職・看護補助者の確保	新卒訪問看護師育成体制整備の支援	新卒訪問看護師を採用した訪問看護STの育成体制整備を支援するとともに、県内訪問看護STおよび関係機関と情報共有することにより、訪問看護師の確保と定着を図る
			訪問看護の魅力発信in看護師等学校養成所	看護師等学校養成所の学生に対し、訪問看護師から想いを伝え、意見交換することで、職業としての訪問看護への理解と関心を高め、訪問看護師の確保につなげる

および令和8年度取り組み目標

訪問看護ステーション→訪問看護ST 看護小規模多機能型居宅介護→看多機

項目	令和5・6・7年度実績			令和8年度計画		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年増減	指標	取り組み目標
①受講訪問看護ST数 (施設) ②受講者数(名)	①0 ②0	①1 ②1	①2 ②4	①1 増 ②3 増	受講数の増加	・訪問看護ST従事者が大幅な報酬改定を理解し、適切で安定的な事業運営ができるための支援ができる。 ・各訪問看護ステーションにおける育成体制がより充実するための支援ができる。
①実施回数 ②受講者(回線数)	①2回(同内容) ②延103回線	①2回(同内容) ②延50回線	①3回 ②延102回線	平均25→34回線 52回線増		
①実施回数(シリーズで受講) ②受講者(施設) ※R6年度以降は他の事業に含めて実施	①講義・グループワーク 計6回 ②58施設+個人1	-	-	-	-	
①実施回数 ②募集 ③受講者	①1回 ②10 ③10 受講割合100% 満足度100% 目標達成度100%	①3回 ②計30 ③延20 受講割合66.7% 満足度100% 目標達成度100%	①4回 ②計48 ③延25 受講割合52.1% 満足度97.8% 目標達成度93.2%	受講割合14.6%減 満足度 維持 目標達成度 維持	・受講割合70%以上 ・満足度80%以上 ・目標達成度80%以上	
①協力訪問看護ST数 ②体験者数 ③体験後の訪問看護ST就労者数	①22施設 ②7 ③就労0	①36施設 ②11 ③就労5・開設1	①27施設 ②19(うち学生14) 延べ26日	体験者8 増	体験者数の増加	・体験者が訪問看護への関心を高められるよう、受入訪問看護STと連携を図ることができる。
①受講訪問看護ST数 ②実施延回数	①0 ②0	①4施設 ②延べ9回	①2施設 ②延べ3回	施設数 4→2 減	-	担当課職員体制により休止。
リーフレット活用(部) ①住民向け ②看護職員向け	①2,230 ②450 計2,680	①1,572 ②539 計2,111	①1,012 ②353 計1,365	①560 減 ②186 増 計746 減	-	・訪問看護ST、他機関と連携し、住民に対する啓発ができる。 ・看護学生、潜在看護師等に対する啓発を継続できる。
方法 対象施設数	名簿作成 ヒアリング22施設	名簿作成 視察 2施設	名簿作成 視察 1施設 ヒアリング24施設	-	-	
実施日 受講施設数 受講割合	令和6年3月2日 8施設 受講割合38.1% 満足度100% 目標達成度100%	令和7年3月13日 13施設+関係機関4 受講割合59.1% 満足度100% 目標達成度92.9%	令和8年2月19日 10施設+関係機関1 受講割合41.7% 満足度100% 目標達成度100%	受講/全事業所割合 59.1→41.7% 17.4%減	受講割合の増加	・看多機事業所のニーズに基づいた情報提供や研修企画ができる。 ・住民や関係機関への啓発に向けた取り組みができる。
情報提供の実施	実施	実施	実施	-	-	
対象：県訪問看護ST協議会・県および郡市医師会在宅医療推進センター・各職能団体等	実施	実施	実施	-	-	・目的を明確にした関係機関との連携が継続できる。
①新卒訪問看護師を採用した訪問看護STにおける関係者との意見交換 ②新卒訪問看護師の情報交換会開催 ③新卒訪問看護師育成報告会開催	-	-	①計7回 ②令和8年1月29日 訪問看護師4名 他 ③令和8年2月18日 訪問看護ST等 計45施設	-	報告会の出席者の増加	・新卒訪問看護師が、意欲的に就業継続できるよう支援できる。 ・新卒看護師採用に対する関心を高められる取り組みができる。
①看護師等学校養成所訪問等による情報提供および意見交換 ②看護師等学校養成所において訪問看護師による講話、学生との意見交換	-	-	①計8校 ②計4校 対象者1~3年生 計144名	-	受講前後アンケートにおける訪問看護STへの就職を考える回答数の増加	・訪問看護STと連携し、看護学生の訪問看護に対する関心を高められる取り組みが継続できる。

訪問看護推進事業

I 訪問看護実態調査

1 目的 訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的看護内容、事業実施上の問題点等に関する調査を行い訪問看護推進事業を実施する上での基礎資料を作成する。

2 概要

1) 調査対象：令和7年8月1日現在新潟県に現存する訪問看護ステーション213施設

2) 回収件数：152施設（回答率71.4%）

3) 調査内容：①訪問看護ステーションの概要
②サービス提供の実績について
③事業所の運営について
④職員について
⑤新卒看護職員採用について
⑥携帯電話当番について
⑦訪問看護を行う上で問題として感じていることについて
⑧看護職員のカスタマーハラスメント被害について
⑨看護学生実習の受け入れについて

4) 調査方法：調査内容（Excelデータ）をメールにより送付および回答

5) 調査回答期間：令和7年10月1日～10月20日

6) 調査結果：「2025年度訪問看護実態調査報告書」としてまとめた。
報告書および概要版は、看護協会ホームページに掲載。

7) 活 用：

①訪問看護推進のための基礎資料；調査に協力を得た訪問看護ステーション、訪問看護推進協議会委員、関係団体等に配布し、訪問看護推進のための基礎資料として頂く。

②研修への活用；訪問看護関連研修会の講師に配布し、講義の参考資料として頂く。

③訪問看護ステーションに対する報告；県内全訪問看護ステーションを対象に、報告書の内容に関する説明および意見交換会を開催した。

開催日：令和8年3月11日（水）

出席数：52回線

意見交換テーマ：訪問看護ステーションにおけるカスタマーハラスメント対策について

「カスハラからスタッフと事業所を守る！」

II 訪問看護相談事業

1 目的 在宅療養者やその家族等および訪問看護サービスを提供する訪問看護従事者に対して、訪問看護に対する情報提供や相談を行うことで、訪問看護事業に対する理解を深め、活用を促す。

2 訪問看護相談

1) 合計 484件

2) 相談区分

相談者	療養者	家族	訪問看護ステーション	関係機関	その他
相談件数	2	9	417	45	11

3) 相談内容

相談内容	報酬	運営	災害	在宅療養	治療	看多機*	その他
相談研修	178	261	4	11	0	8	22

※看護小規模多機能型居宅介護事業所を看多機と記載する

III 訪問看護推進協議会

1 目的 訪問看護に関する実態調査および各年度における訪問看護推進事業の企画・調査等を行い、訪問看護の推進に寄与する。

2 委員 12名

	氏名	所属機関・勤務先	役職
会長	永井 博子	新潟県医師会・押木内科神経内科医院	副院長
副会長	坪川トモ子	新潟青陵大学看護学部看護学科	学部長・教授
委員	服部 美加	一般社団法人新潟県医師会在宅医療推進センター	コーディネーター
委員	高橋 直美	新潟県訪問看護ステーション協議会 (訪問看護ステーションゆうばえ)	常任理事
委員	大戸奈穂子	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課 看護職員確保・育成係	副参事
委員	樋口 貴大	新潟県福祉保健部 地域医療政策課 医療企画班	主事
委員	渡邊 文恵	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 介護サービス係	係長
委員	志賀久美子	新潟市保健衛生部 地域医療推進課	主査
委員	金子 歩	公益社団法人新潟県看護協会 訪問看護推進委員会 (訪問看護ステーションココロ上越高田駅前)	副委員長
委員	長濱 友子	公益社団法人新潟県看護協会 訪問看護推進委員会 (とよら訪問看護ステーション)	委員
委員	池田 良美	公益社団法人新潟県看護協会	会長
委員	山田 秀子	公益社団法人新潟県看護協会	常務理事

3 開催回数・会場・内容

開催日	会場	主な協議内容
令和7年 8月18日	新潟県 看護研修センター	1.訪問看護推進事業の評価と実績 2.訪問看護ステーションにおけるカスタマーハラスメント

IV 訪問看護従事者研修会（新任者編）（管理編）（スキルアップ編）

- 1 目的 訪問看護に携わる看護職員に対して、最新の知識と医療技術を提供し、質の高い訪問看護サービスの提供に資する。
- 2 内容と受講者数、評価

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和7年)	内容	募集	受講数 修了数 受講割合	満足度 目標達成度
訪問看護 従事者研修会 (新任者編)	全日程	5月31日(土) ～11月8日(土)	講義7日 eラーニング 約35時間 実習2日	30	受講24 修了23 受講割合80.0%	満足度99.2% 目標達成度99.2%
	公開講座	5月31日(土) 6月28日(土) 7月12日(土) 9月6日(土)	講義4回	計80	受講延べ51 受講割合63.8%	満足度100% 目標達成度100%
訪問看護 従事者研修会 (管理編)	全日程	5月10日(土) ～10月4日(土)	講義4日 実習2日	20	受講11 修了10 受講割合55.0%	満足度95.5% 目標達成度93.8%
	公開講座	6月14日(土) 7月19日(土) 10月4日(土)	講義3回	計80	受講延べ39 受講割合48.8%	満足度99.9% 目標達成度100%
訪問看護従事者研修会 (スキルアップ編)	一回単位	8月23日(土) 9月2日(火) 9月17日(水) 10月1日(水) 10月16日(木) 11月20日(木) 12月6日(土)	講義7回	計420	受講延べ203 受講割合48.3%	満足度98.4% 目標達成度97.1%

V 在宅看護（入退院支援）研修会

- 1 目的 医療機関に勤務する看護職員に対して、在宅医療に関する知識を提供し、入院患者が適正に在宅医療に移るための入退院支援を行うことにより、訪問看護の推進につなげる。
- 2 内容と受講者数、評価

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和7年)	内容	募集	受講数 修了数 受講割合	満足度 目標達成度
在宅看護 (入退院支援) 研修会	全日程	6月12日(木) ～11月15日(土)	講義4日 実習2日	20	受講10 修了9 受講割合50.0%	満足度100% 目標達成度100%
	公開講座	6月12日(木) 7月24日(木) 10月18日(土) 11月15日(土)	講義4回	計120	受講延べ66 受講割合55.0%	満足度100% 目標達成度100%

VI 訪問看護師育成サポート研修

1 目的 訪問看護従事者に対して現地での現地指導等を行うことにより、教育体制の充実と訪問看護従事者の確保・定着を促進する。

2 個別研修

1) 目的：個別支援を実施することで、新潟県内の訪問看護ステーションが訪問看護の質向上と人材の確保・育成を目指し、訪問看護師の育成体制を整備することができる。

2) 実施内容：現地での育成支援

実施日	令和7年7月11日(金)	令和8年3月18日(水)
対象職員数	管理者1名	管理者1名 従事者2名
支援内容	訪問看護の質評価に関すること	訪問看護師の育成に関すること 訪問看護報酬に関する基礎知識に関する こと

3 全体研修①

1) 目的：訪問看護に関する基礎的な知識への理解を深めることにより、法令に基づき安定した事業運営ができる。

2) 内容・受講数・評価

開催時期 (令和7年)	内容	受講数	満足度 目標達成度
4月24日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護制度の基本	27回線	満足度 95.5% 目標達成度 86.4%
5月15日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護報酬の基本	37回線	満足度 83.5% 目標達成度 77.8%
5月29日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護に関連する公費制度	38回線	満足度 100% 目標達成度 91.7%

4 全体研修② 教育機関と協働する研修

1) 目的：訪問看護師の質向上を目指し、新潟県内の訪問看護ステーションが訪問看護師の育成体制を整備し、人材の確保と育成を図る

2) 研修目標：アセスメントに基づき、適切な情報共有のための言語化ができる

- ・フィジカルアセスメントの基本を理解できる
- ・状態変化時の優先順位に基づいたアセスメントができる
- ・状態変化時の適切な対応を考えることができる
- ・対象者の状態について考えたことを言語化できる

3) 講師：新潟青陵大学看護学部看護学科 学部長・教授 坪川トモ子氏
准教授 清水 理恵氏
助教 浅野 仁美氏

4) 内容・受講数・評価

開催時期 (令和8年)	対象	募集	受講数 受講割合	満足度 目標達成度
2月9日(月)	訪問看護経験の短い 訪問看護師	12	6名 受講割合 50.0%	満足度 95.5% 目標達成度 86.4%
3月3日(火)		12	6名 受講割合 50.0%	
2月12日(木)	訪問看護経験の長い 又は指導的立場にある 訪問看護師	12	8名 受講割合 66.7%	満足度 100% 目標達成度 100%
3月4日(水)		12	5名 受講割合 41.7%	

VII 訪問看護就業支援プログラム

- 1 目的：看護職員および看護学生に対して、訪問看護ステーション職場体験の機会を提供し、訪問看護への理解を深めるとともに就業意欲を高めることにより訪問看護師の確保および定着につなげる。
- 2 対象者：訪問看護に興味のある看護職員・訪問看護に興味のある看護学生
- 3 実績
 - 1) 協力訪問看護ステーション 27 施設
体験依頼した訪問看護ステーション 14 施設（体験者の居住地等の理由による）
 - 2) 体験者人数・体験日数・体験後の就業の状況

※訪問看護ステーション就業：令和8年3月1日現在の状況

申込		実績		体験後の動向
看護学生	15名	14名	延べ18日	
就業看護師	3名	3名	延べ5日	
未就業看護師	2名	2名	延べ3日	
合計	20名	19名	延べ26日	

訪問看護総合支援センター事業

1 訪問看護ステーション運営アドバイザー事業

- 1) 目的：新潟県内の新規開設訪問看護ステーション及び事業所運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーションに運営アドバイザー等を派遣し、訪問看護ステーションの運営に関する支援を行うことで、安定した事業運営につなげる。
- 2) 対象者：新潟県内において新規開設準備又は新規開設した訪問看護ステーション
新潟県内で開設している訪問看護ステーションで事業運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーション
- 3) 実績：訪問看護ステーション2施設 延べ3日

実施日 (令和7年)	対象職員	実施場所	支援内容
4月23日(水)	事業者代表 1名 管理者 1名 従事者 1名	現地	・新規開設に向けた体制整備に関すること ・訪問看護制度および報酬に関する基礎知識に関すること
4月25日(金)	事業者代表 1名 管理者 1名		
10月11日(土)	管理者 1名	新潟県看護 研修センター	・訪問看護師の育成に関すること ・訪問看護制度および報酬に関する基礎知識に関すること

2 訪問看護の周知

1) リーフレットの活用

題名	内容	配布先	部数
訪問看護ステーション ～“家で暮らしたい”を 支えます～	訪問看護サービスの内容や 利用方法等の説明	・要望のあった病院 ・要望のあった 訪問看護ステーション ・看護師等学校養成所 等	1,012部
訪問看護で生き生き働く!!	訪問看護に従事する職員を 増やすための働きかけ	・ナースセンター ・ハローワーク ・研修会会場 ・看護師等学校養成所 等	353部

2) 看護師等学校養成所への訪問、求職中看護職への周知（ナースセンター・ハローワークと連携）

3) 看護師等学校養成所訪問

- (1) 実施日：4月23日(水) 5月9日(金) 6月3日(火) 7月2日(水) 7月4日(金)
- (2) 対象：計8校 ※13校には資料送付
- (3) 内容：・情報提供 新潟県内の訪問看護の状況 訪問看護の魅力発信事業 等
・意見交換

4) 新潟市事業「地域医療を支える看護人材確保事業」への協力

- (1) 訪問看護の魅力発信 in 新潟大学
 - ①実施日：令和7年8月6日(水)
 - ②対象：新潟大学保健学科看護学部3年生 80名

- ③内 容：新潟市内訪問看護ステーション訪問看護師3名による訪問看護に関する講話
学生と訪問看護師の意見交換
新潟市より事業の紹介
本課より情報提供：新潟県内の訪問看護について、訪問看護師の育成体制について 等

(2) 訪問看護魅力発信オンラインイベント

「その人らしい暮らしを支える看護～現場から伝える看護の魅力～」

- ①実施日：令和8年2月28日（土）
②参加者：28名
③内 容：新潟市内訪問看護ステーション管理者2名による訪問看護に関する講話
参加者と管理者の意見交換
新潟市より事業の紹介
本課より情報提供：新潟県内の訪問看護について、訪問看護師の育成体制について 等

3 看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援

1) 情報収集

- (1) 目 的 県内看護小規模多機能型居宅介護事業所の現地視察やヒアリングにより、運営状況を把握し、質の向上および経営・運営の安定化、ネットワーク構築に向けた支援の方策に関する具体的な検討のための資料とする

(2) 内 容

- ①視察 対 象：1施設（新潟圏域）
実 施 日：令和7年5月28日（水）
②ヒアリング 対 象：県内全事業所 24施設
実施期間：令和8年1月
活 用：県内全事業所および県内全市町村に配布、事業運営の資料、講義に活用等

2) 研修会

- (1) 目 的 看護小規模多機能型居宅介護事業所の効果的な運営方法を学び、自施設における取り組みを考えることができる
県内の看護小規模多機能型居宅介護事業所間の連携を図ることができる

- (2) 実施日 令和8年2月19日（木）

- (3) 内 容 講義「看護小規模多機能型居宅介護事業所の経営戦略」
講師：株式会社渡邊経営/渡邊会計事務所 代表
看護師・公認会計士・税理士 渡邊 尚之 氏

- (4) 受講者 看護小規模多機能型居宅介護事業所 10施設

- (5) 評 価 受講割合 41.7% 満足度 100% 目標達成度 100%

4 関係機関との連携

- 1) 機関；行政 新潟県訪問看護ステーション協議会 在宅医療推進センター 教育機関 医療機関
新潟県介護支援専門員協会 新潟県薬剤師会 新潟県医療的ケア児支援センター 等
2) 内容；訪問看護推進における課題と方策の共有・検討、訪問看護に関連する事業 等

5 専門性の高い訪問看護師の活躍の場拡大に向けた取り組み

- 1) 名簿作成と周知
2) 新潟県看護協会看護学会における訪問看護セッションの企画運営への支援
「訪問看護ステーションにおける特定行為研修修了者の挑戦」

日本看護協会委託事業

I 地域の実情に応じた看護職確保推進事業

1 新卒訪問看護師の育成整備支援事業

1) 目的 新卒訪問看護師を採用した訪問看護ステーションの育成体制整備を支援するとともに、県内の訪問看護ステーションおよび関係機関と情報共有することにより、訪問看護師の確保と定着をはかる

2) 育成に関する意見交換への出席

(1) 実施日 令和7年4月17日(木) 5月19日(月) 7月14日(月) 9月16日(火) 12月3日(水)
令和8年1月20日(火) 3月17日(火)

(2) 出席者 当該訪問看護ステーション：新卒訪問看護師 指導訪問看護師 管理者
母体病院：看護部長 看護部長補佐 病棟指導看護師 病棟師長
出身看護大学：教員2名

3) 新卒訪問看護師育成意見交換

(1) 目的 新卒訪問看護師：訪問看護に対する想いや実際の業務等について情報共有し、モチベーションを維持できる

訪問看護総合支援センター：新卒訪問看護師育成体制整備について当事者の想いを汲み取り、今後の事業に活かすこと

(2) 実施日 令和8年1月29日(木)

(3) 出席者 新卒訪問看護師：計4名 (新潟県1名 長野県2名 山形県1名)

訪問看護ステーション管理者：計4名 (同上) 訪問看護総合支援センター職員：計6名

4) 新卒訪問看護師育成 報告会

(1) 目的 新卒訪問看護師を採用した訪問看護ステーションの育成体制について情報共有し、それぞれの立場における取り組みを考えることができる

(2) 実施日 令和8年2月18日(水)

(3) 出席数・評価

施設種別	訪問看護ステーション	医療機関	教育機関	行政
出席数	25 施設 31 名	11 施設 15 名	8 施設 14 名	1 施設 1 名
満足度	92.3%	100%	100%	

2 訪問看護の魅力発信 in 看護師等学校養成所

1) 目的 看護師等学校養成所の学生に対し、現役の訪問看護師から訪問看護についての想いを伝え、意見交換することで、職業としての訪問看護への理解と関心を高め、訪問看護師の確保につなげる

2) 内容 ・学校所在圏域の訪問看護ステーションの訪問看護師2～3名による講話

・学生と訪問看護師の意見交換

・本課より情報提供：新潟県内の訪問看護の状況 訪問看護ステーションにおける育成体制 等

実施日	令和7年 7月29日(火)	令和7年 10月31日(金)	令和8年 2月17日(火)	令和8年 3月6日(金)
学校名	長岡崇徳大学	北里大学	新潟県立新発田病院 附属看護専門学校	長岡赤十字 看護専門学校
対象	3年生他 39名	2年生 37名	1年生 37名	2年生 31名

3) 評価 受講前後のアンケートのうち、問「訪問看護ステーションに就職することについての考え」4校計

回答選択肢	受講前	受講後
就職することは考えていない	70.0%	34.3%
病院で何年か働いてから就職したい	30.0%	56.7%
可能であれば卒業直ぐに就職したい	2.9%	0%

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」全日程 プログラム

目的 訪問看護に関連する知識や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

日程 ①eラーニング:約35時間 ②講義:計7日間(35時間) ③施設実習:2日間 ①②③全てを受講する

※①については、前年度に各施設で受講し修了証書(写)を提出頂ければ免除とします。

会場 ①eラーニング:職場等 ②講義:新潟県看護研修センター ③施設実習:訪問看護ステーション・地域包括支援センター

*講義のうち 6/28・7/12・10/20 は会場受講のみとします(他の回はオンライン受講も可能)

費用 ①eラーニング:会員・非会員14,300円(税込) ②講義:資料代 会員15,400円(税込)・非会員46,200円(税込) ③無料

募集 30名

① eラーニング 【目的】訪問看護に関連する基本的な知識や技術を理解する。

期間	形態	履修科目	備考
5/31~11/7	訪問看護eラーニング ～訪問看護基礎講座～ (公益財団法人日本訪問看護財団)	第1章 訪問看護概論 第2章 在宅ケアシステム論 第3章 リスクマネジメント論 第4章 訪問看護対象論 第5章 訪問看護展開論 第6章 訪問看護技術論	・講義の項目に合わせて自己学習する ・確認テスト終了後に修了証書が発行される

② 講義 【目的】eラーニングで学んだ知識や技術を講義の学びにより深める。集団において他の受講者と意見交換することで自らの考えを深める。

回数	開催日	開催時間 時間数	会場	講義名	ねらい・学習内容	所属 講師名
1	5/31 (土) 午前のみ 公開講座有	9:30~ 11:30 2時間	中 研 修 室	地域包括 ケアシステム	○地域包括ケアシステムを理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域包括ケアシステムの定義、構造、機能、動向 ・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割 等	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 須田 真奈
		12:30~ 15:30 3時間		地域医療構想	○地域医療構想を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域医療構想の概念 ・新潟県地域医療構想 ・地域医療構想において訪問看護に求められる役割 等	新潟県福祉保健部地域医療政策課 地域医療整備室 由良 観識(ゆら まさのり)
		9:30~ 12:00 2.5時間		訪問看護概論	○訪問看護制度の基本を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・保健医療福祉に係る社会的背景と訪問看護のニーズ ・訪問看護の役割、機能、特性、諸制度 等	センター病院訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 古川 総一郎
2	在宅看護 研修会と 合同	13:00~ 15:30 2.5時間	大 研 修 室	在宅ケア システム	○在宅ケアマネジメントの基本を理解する ○多職種連携における訪問看護の役割を理解する ・ケアマネジメントの定義、目的 ・介護保険制度の基本 ・介護支援専門員の役割 ・多職種連携 ・BCP 等	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議 会 会長 丸山 径世
		9:30~ 12:00 2.5時間		入退院支援	○医療機関と地域との連携の実際を理解する ○医療機関と地域との連携における看護職の役割を考える ・入退院支援における地域との連携 ・外来看護における地域との連携 ・看護職の役割	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門 看護主任 慢性心不全看護認定看護師 白倉 透規
3	6/28 (土) 公開講座 有	9:30~ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションが必要な在宅療養者への援助技術を修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かしかた ・適切な介助方法 等	済生会新潟県央基幹病院 リハビリテーション部 係長 呼吸専門理学療法士 瀬崎 学
		13:00~ 15:30 2.5時間		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実際 等	
4	7/12 (土) 公開講座 有	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
5	9/6 (土) 公開講座 有	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実際 ・訪問看護の記録の基本と実際 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子
6	10/20 (月)	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	家族関係論 家族看護	○訪問看護の対象となる療養者と家族の特性を理解する ○家族支援方法を修得する ・家族関係論の基本 ・家族療法の意義、技法 ・家族支援のあり方の検討 等	国立病院機構新潟病院臨床研究部 臨床心理・遺伝カウンセリング研究室 室長 認定遺伝カウンセラー・臨床心理士 後藤 清恵
7	11/8 (土)	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	成果報告会	○講義、eラーニング、施設実習で得た学びを統合し、 訪問看護の役割、魅力を語る事ができる ・学びの振り返り ・訪問看護師としての今後の課題と行動計画	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

③ 施設実習 【目的】実践現場を体験することにより、eラーニングおよび講義で学習したことを統合し、訪問看護の実践に活かす

期間	場所・日程	ねらい・学習内容	備考
7/1~11/7	①自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ②地域包括支援センター 1日	①他の訪問看護ステーションにおける訪問看護の展開を学ぶ ②地域包括支援センターの役割と、地域における連携の実際を学ぶ ・①②とも見学実習	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」公開講座 プログラム

目的 訪問看護に関連する知識や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

日時 第1回5/31(土):9:30～11:30 第2回6/28(土)・第3回7/12(土)・第4回9/6(土):9:30～15:30

会場 新潟県看護研修センター 第1回5/31・第4回9/6:オンライン受講可能 第2回6/28・第3回7/12:会場受講のみ

費用 講義資料代 第1回5/31:会員1,100円(税込)非会員3,300円(税込) 第2回6/28・第3回7/12・第4回9/6:各回 会員2,200円(税込)非会員6,600円(税込)

募集 各回20名

回数	開催日	募集	開催時間 時間数	会場	講義名	○ねらい・学習内容	所属 講師名
1	5/31 (土)	20 名	9:30～ 11:30	中 研 修 室	地域包括 ケアシステム	○地域包括ケアシステムを理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域包括ケアシステムの定義、構造、機能、動向 ・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割 等	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 須田 真奈
			2時間		地域医療構想	○地域医療構想を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域医療構想の概念 ・新潟県地域医療構想 ・地域医療構想において訪問看護に求められる役割 等	新潟県福祉保健部地域医療政策課 地域医療整備室 由良 毅哉 (ゆら まさのり)
2	6/28 (土)	20 名	9:30～ 12:00	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションが必要な在宅療養者への援助技術を修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かし方 ・適切な介助方法 等	済生会新潟県中央基幹病院 リハビリテーション部 係長 呼吸専門理学療法士
			13:00～ 15:30		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実際 等	瀬崎 学
3	7/12 (土)	20 名	9:30～ 15:30	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
4	9/6 (土)	20 名	9:30～ 15:30	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実際 ・訪問看護の記録の基本と実際 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(管理編)」全日程・公開講座 プログラム

目的 訪問看護ステーション運営に必要な知識や技術を学び、実践に活かすことができる

日程 全日程：① 講義4日間(22時間) ②施設実習2日(訪問看護ステーション実習1日 地域包括支援センターまたは病院1日)

公開講座：6/14(土)9:30～16:30 ・7/19(土)9:30～15:30 ・10/4(土)9:30～12:30

会場 講義：新潟県看護研修センター 5/10・7/19・10/4午後は会場受講のみ 6/14・10/4午前はオンライン受講も可

費用 全日程：講義資料代 会員8,800円(税込) 非会員26,400円(税込)

公開講座：講義資料代 6/14・7/19:会員2,200円(税込)非会員6,600円(税込) 10/4午前:会員1,100円(税込)非会員3,300円(税込)

募集 全日程：20名 公開講座：会場受講者の最大数→以下に記載 オンライン受講の場合は制限なし

① 講義(全日程・公開講座)

全日程	公開講座		開催日	開催時間	会場	講座名	ねらい・学習内容	講師(敬称略)
	回数	定員						
1			5/10 (土)	9:30～15:30 5時間	大研修室	看護マネジメント	○看護マネジメントの基本を理解する ○看護サービス管理について理解する ○組織の成長・発展のための看護管理実践の方法を知る ・マネジメントの体系、変革理論、システム論について ・看護サービスの標準化、質の保証と評価 ・リーダーシップ論について ・組織の問題の背景や原因の分析、整理の方法、課題を明確にすることについて →10/4に発表する 等	社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵
2	1	20名	6/14 (土)	9:30～12:30 3時間	中研修室	訪問看護ステーションにおけるリスクマネジメント	○リスクマネジメントの基本を理解する ○組織的に事故防止を行うための課題と取り組みを明確にする ・医療安全の基礎知識 ・訪問看護ステーションにおける安全管理のポイントと体制の構築 ・事故発生時の対応 等	東京科学大学大学院 保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分野 教授 柏木 聖代 ※オンライン講義
				13:30～16:30 3時間		訪問看護ステーションの労務管理	○労務管理の基本を理解する ○訪問看護ステーションにおける労務管理を理解する ○ハラスメントに関する基本を理解し対応策を明確にする ・労務管理の基礎 ・訪問看護ステーションに必要な労務管理 ・ハラスメントの定義、対策 ・職員の心身の健康管理 等	加藤看護師社労士事務所 代表 特定社会保険労務士 看護師 医療労務コンサルタント 加藤 明子 ※オンライン講義
3	2	30名	7/19 (土)	9:30～15:30 5時間	大研修室	訪問看護ステーションの経営戦略	○訪問看護ステーション経営の基本を理解する ○自施設の経営課題と取り組みを明確にできる ・訪問看護ステーションを取り巻く経営環境 ・訪問看護ステーション経営の基礎知識 ・収支構造の理解と経営管理 ・経営安定化に向けた取り組み 等	渡邊会計事務所 所長 公認会計士 税理士 看護師 渡邊 尚之
4	3	30名	10/4 (土)	9:30～12:30 3時間	大研修室	訪問看護の質向上	○訪問看護ステーション運営の基本を理解する ○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自施設における質向上における課題と取り組みを明確にできる ・訪問看護を取り巻く社会的背景 ・訪問看護ステーション運営と管理者の役割 ・訪問看護事業に求められる人材(人財)育成 ・訪問看護師の生涯学習 等	公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 在宅看護CNS 平原 優美 ※オンライン講義
				13:30～16:30 3時間		訪問看護ステーション管理者の役割	○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自施設の課題と取り組みを深める ・所属する組織の問題と課題を明確にし、発表する ・質疑応答を通して、参加者同士で他の組織の問題を共有する 等	社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵

② 施設実習(全日程のみ)

期間	時間	場所・日程	ねらい・学習内容	備考
7/1～10/3	実習施設と相談(5時間以上)	①自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ②病院の地域連携部門または地域包括支援センター 1日	①他の訪問看護ステーションにおける管理業務の実際を学び、自身の役割を明確にする ②病院：入退院における連携の実際を学び、訪問看護の役割と自施設における取り組みを説明することができる ②地域包括支援センター：地域包括支援センターの役割と地域における連携の実際を学び、訪問看護の役割と自施設の取り組みを明確にする ・①②とも見学実習	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

令和7年度 新潟県委託事業 訪問看護従事者研修会(スキルアップ編) プログラム

目的 質の高い訪問看護サービスに必要な知識・技術を学び、実践に活かすことができる

日時 **※全日程ではなく、1回単位で受講する**

第1回8/23(土)9:30～15:30 第2回9/2(火)13:30～16:00 第3回9/17(水)14:00～16:00 第4回10/1(水)13:30～15:30
 第5回10/16(木)13:30～15:30 第6回11/20(木)13:30～16:00 第7回12/6(土)9:30～15:30

方法・会場 8/23:会場受講のみ 9/2・9/17・10/1・10/16・11/20 :Zoomミーティングによるオンライン受講(会場受講も可能)
 12/6:会場受講(Zoomミーティングによるオンライン受講も可能)

会場受講の場合;新潟県看護研修センター

費用 講義資料代 8/23・12/6 : 5時間の講座 各回 会員2,200円(税込) 非会員6,600円(税込)

9/2・9/17・10/1・10/16・11/20 : 2時間～2.5時間の講座 各回 会員1,100円(税込) 非会員3,300円(税込)

募集 各回60名 ※オンライン研修はPC1台で複数名の受講は可能ですが、受講される方全ての申し込みが必要です。

回数	開催日	開催時間	会場	募集	講義名	○ねらい・学習内容	講師(敬称略)
1	8/23 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	精神科訪問看護	○精神科訪問看護について理解し、実践に活かすことができる～心理教育の要素を活かして～ ・精神科医療・看護で行われていること ・精神科訪問看護について ・精神科訪問看護の実際 ・精神科訪問看護をケースを通して 等	訪問看護ステーションめぐみ 所長 佐藤博幸
2	9/2 (火)	13:30～ 16:00 2.5時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	小児訪問看護	○県内の小児訪問看護の実態と実際を知り、課題と自施設における取り組みを考えることができる ・小児訪問看護の調査結果報告 ・実践報告 ・意見交換 等	長岡療育園 新潟県医療的ケア児 支援センター 看護師 大嶋 さよ子 訪問看護ステーションtete 管理者 平山 沙知子
3	9/17 (水)	14:00～ 16:00 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病の病態と治療】 ○パーキンソン病の基本的な病態と治療方法について理解し、訪問看護の役割を考えることができる ・パーキンソン病の病態生理 ・パーキンソン病の治療 ・訪問看護に求めること 等	堀川内科・神経内科医院 院長 今野 卓哉
4	10/1 (水)	13:30～ 15:30 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病の薬剤治療】 ○パーキンソン病の薬剤治療の基本を理解する ○在宅における薬剤治療に関連する取り組みを理解する ○薬剤治療が効果的に行われるために訪問看護に求められる役割を考えることができる ・パーキンソン病の薬剤治療の基本 ・在宅における薬剤師の役割 ・薬剤治療に関連する訪問看護師の役割 等	独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院 薬剤部 製剤主任 花垣 諒太 公社)新潟県薬剤師会 常務理事 吉田 智彰
5	10/16 (木)	13:30～ 15:30 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病のリハビリテーション】 ○難病のリハビリテーションの基本を理解する ○多職種と連携したリハビリテーションの 取り組み方を学ぶ ○リハビリテーションにおける訪問看護の役割を 考えることができる ・難病のリハビリテーションの基本 ・リハビリテーションの実際 等	みどり訪問看護 リハビリステーション 理学療法士 中村 葉月
6	11/20 (木)	13:30～ 16:00 2.5時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	訪問看護師に 求められる コミュニケーションスキル	○訪問看護師として必要なコミュニケーションとは何かを考えることができる ○自分のコミュニケーションの傾向を知る ○気持ちのよいコミュニケーションのためのスキルについて理解し、演習ができる	聖路加国際大学大学院 講師 東京ひかりナースステーション クオリティマネジメント部 顧問 在宅看護専門看護師 DNP 佐藤 直子
7	12/6 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	慢性心不全をもつ 利用者の 訪問看護	○慢性心不全の病態を理解する ○慢性心不全をもつ利用者の在宅療養生活に必要な看護を考えることができる ・慢性心不全の病態生理と治療 ・慢性心不全をもつ利用者の在宅療養 ・慢性心不全をもつ利用者の終末期の看護 等	社会福祉法人恩賜財団済生会 新潟県中央基幹病院 慢性心不全看護認定看護師 坂井 和泉

令和7年度 新潟県委託事業「在宅看護(入退院支援)研修会」全日程・公開講座 プログラム

- 目的 1.地域連携に必要な知識と在宅支援システムを学び、実践に活かすことができる
2.療養者およびその家族が安心して入退院できる支援方法を学び実践に活かすことができる

日程 全 日 程:講義4日間(22時間) 訪問看護ステーション実習2日間

公開講座:講義4回

会場 新潟県看護研修センター 6/12・7/24・10/18 はZoomによるオンライン受講も可能 11/15は会場受講のみ

費用 全 日 程:講義資料代 会員8,800円(税込) 非会員26,400円(税込)

公開講座:講義資料代 各回 会員2,200円(税込) 非会員6,600円(税込)

募集 全日程:20名 公開講座:会場受講者の最大数→以下に記載 オンライン受講は制限なし

① 講義 (全日程・公開講座)

全日程	公開講座		開催日	時間	会場	講座名	○ねらい ・学習内容	講師 (敬称略)
	回数	募集						
1	1	20名	6/12 (木) 訪問看護 従事者研 修会(新任 者編)と合 同開催	9:30~ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅ケ ア シ ス テ ム	○在宅ケアマネジメントの基本を理解する ○多職種連携における訪問看護の役割を理解する ・ケアマネジメントの定義、目的・介護保険制度の基本 ・介護支援専門員の役割・多職種連携・BCP等	新潟市居宅介護支援事業者 連絡協議会 会長 丸山 径世
				13:00~ 15:30 2.5時間		入退院支援	○医療機関と地域との連携の実際を理解する ○医療機関と地域との連携における看護職の役割を考える ・入退院支援における地域との連携 ・外来看護における地域との連携 ・看護職の役割 等	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門 看護主任 慢性心不全看護認定看護師 白倉 透規
2	2	20名	7/24 (木)	9:30~ 12:00 2.5時間	中 研 修 室	地域ケ ア シ ス テ ム	○地域ケアシステムについて理解する ○地域において看護職に求められる役割を考える ・地域ケアシステムの基本、地域診断 ・地域ケアシステム構築において必要な視点 ・地域ケアシステムの実際 等	新潟大学大学院 保健学研究科 准教授 井上 智代
				13:00~ 15:30 2.5時間		訪問看護の 実際	○訪問看護の制度を理解する ○訪問看護師の役割について理解する ・在宅ケアを受ける療養者と家族 ・訪問看護制度・訪問看護師の役割 ・訪問看護と医療機関の連携、入退院支援 等	訪問看護ステーションふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
3	3	40名	10/18 (土)	9:30~ 13:00 3.5時間	大 研 修 室	在宅療養生活 の 支援	○地域連携における看護職の役割を考える ・講義および実習での学びを共有する ・在宅、訪問看護での家族支援 等 ※公開講座受講者はグループワークを通して学びを共有する	訪問看護ステーション ふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
				14:00~ 16:30 2.5時間		地域における 診療	○地域包括ケアシステムの具体的実践について理解する ○ACPIについて理解する ・地域包括ケアシステムとは ・地域における診療の実際 ・意思決定支援に関わる看護師の役割 等	山の下クリニック 院長 阿部 行宏
				9:30~ 16:30 6時間		地域ケア システムに おける 在宅療養に 向けた支援	○本人の意志を尊重した在宅療養支援を行うための 看護師の役割を理解し、自施設の課題を明確にして、 解決に向けて行動できる。 講義・看看連携が推進する地域包括ケアシステム ・地域共同で取り組む入退院支援 DX/ICT活用 ・外来から始める在宅療養支援 ・ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を 支える院内、院外の仕組み ・地域で紡ぎ、つなぐACP支援 グループワークと全体共有	在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 宇都宮 宏子

② 実習(全日程のみ)

期間	時間	場所・日数	○目標 ・内容	備考
7/1~ 11/14	実習施設と 相談 (5時間以上)	訪問看護ステーション 2日間	○訪問看護を体験し、在宅療養者と家族の生活を知る ○医療機関と地域との連携の実際を知る ・訪問看護の同行 ・その他(実習施設と相談)	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

ナースセンター事業報告

令和7年度実績（令和8年6月発行）

編集発行 公益社団法人新潟県看護協会
〒951-8133 新潟市中央区川岸町2丁目11番

ナースセンター課 訪問看護推進課

TEL 025-233-6011 025-265-4188
FAX 025-265-4188 025-233-7672

課長	高橋 恒子	今出 晶代
担当職員	伊藤 千智	小野 菊世
	渡邊 典子	安達 純子
	白井 美里	
	石田 深夏	
	高梨 美和	
	大塩 恵子	
	渡辺 礼子	
	徳永 和代	
	西潟 紀美江	
	坂井 恵子	

（令和8年3月31日現在）